

## <会長 田中賢治田中賢治プロフィール>

- 1988年 3月 鳥根大学農学部林学科卒業  
1988年 4月 国土防災技術株式会社入社  
2013年 1月 国土防災技術株式会社事業本部緑環境事業部（事業部長）  
ナビコグリーン株式会社（取締役）  
2013年 5月 日本フルボ酸総合研究所（会長）

## <学会活動等>

日本全国および東アジア地域の荒廃地斜面の土壌を採取して、土壌の理化学性を評価しながら森林の健全化、斜面の自然復元手法の資材・手法の研究を進めている。

学会には、日本森林学会、砂防学会、日本緑化工学会、農業農村工学会、地すべり学会等に参加している。

- ① NPO法人自然再生技術協会 理事長
- ② 日本緑化工学会 理事
- ③ NPO法人日本緑化工協会 理事
- ④ NPO法人日本エコサイクル土壌協会 理事
- ⑤ NPO法人もりふれ倶楽部 外部アドバイザー

## <主な業績>

近年においては、日立環境財団の第39回環境賞の優良賞を受賞しており、建設コンサルタント研究発表会（関西支部）優秀賞、第43回林道研究発表会「現地採取種子を導入した斜面保護工」で奨励賞、全地連「技術e-フォーラム2009」で優秀技術発表者賞、第16回土木施工管理技術論文・技術報告特別賞等の受賞等がある。

著書には、知っておきたい斜面のはなしQ&A－斜面と暮らす－（土木学会共著）では緑化基盤材の物理・化学性を整えるポイントは何を担当し、テレビではNHKの「モリゾー・キッコロ森へ行こうよ！」や「おはよう日本」等に出演している。

主な学会論文には、以下のものがある。

- ① 現地採取種子を利用した自然回復緑化の現状と課題（日本緑化工学会）
- ② 有機物の化学的緩衝能力を用いた極強酸性土壌緑化（日本緑化工学会）
- ③ 特定外来生物に対する改良客土による成長抑制実験結果報告（日本緑化工学会）
- ④ 機物を用いた人工腐植物質生成の試み（日本緑化工学会）
- ⑤ スギ・ヒノキ人工林における土壌理化学性による森林健全度評価の試み（日本緑化工学会）
- ⑥ 緑化基盤材の塩基飽和度が植物へもたらす影響（日本緑化工学会）
- ⑦ 製鋼スラグを植生基盤に利用した植栽効果検証実験（日本緑化工学会）
- ⑧ 海岸林の天然更新への挑戦（日本緑化工学会）
- ⑨ 協会誌講座「緑化：荒廃地の自然を復元するための手法および新たな試み1～3」

（斜面防災対策技術協会）

## <主な資格>

技術士（総合技術監理・森林・農業部門）、環境カウンセラー（事業者・市民部門）

日本技術士会 森林・農業・水産部会、国立大学法人鳥根大学 非常勤講師

以上